



特集1：西日本豪雨災害

西日本豪雨災害 1-4

- ・災害と被害
- ・広島県生協連の取り組み
- ・会員生協の取り組み

特集2：2018ピースアクション

inヒロシマ 5-8

- ・2018 虹のひろば & 分科会
- ・次世代の取り組み
基町高校・安田女子大学

トピックス 9

- ・こどもけんこうまつり
広島医療生協 生協ひろしま共催
- ・けんこうチャレンジ2018 交流会

事務局だより 10

- ・広島県庁からのお知らせ
- ・消費者ネット広島情報
- ・会議報告

MESSAGE 11

災害に対する

『ろうきんの基本姿勢』

中国労働金庫本店営業部

宇畑 敬士 部長

・編集室から

■表紙写真（2018 ピースナイター）
広島原爆の日の8月6日の翌日7日、第11回
目を迎えた2018 ピースナイター。今年も、色
鮮やかな芝生とともに球場を緑1色に染めて平
和を願い、『西日本豪雨』の犠牲者への追悼の
ナイターとなった。

悼 み 希 ね が



特集



(写真) 左：7月8日朝日新聞朝刊
右：7月10日朝日新聞朝刊
(朝日新聞提供)

災害

火山噴火・地震・津波
台風・大雨の災害列島

またしても、大雨が日本列島を襲った。しかも、これまでの限られた地域だけでなく、西は九州北部、四国・中国地方（広島県・岡山県・兵庫県）を中心に、東は近畿、中部地方まで、これまでにない広い地域に被害を及ぼした。災害の始まりは、7月6日から梅雨前線が3日間西日本に停滞し、南の海上に発生した台風7号も影響して、九州北部、四国、中国、近畿、中部地方に、記録的な豪雨をもたらしたのだ。この間の降雨量、大雨特別指標にもなる48時間雨量は、7日の最大値が、高知

県馬路村で919・0^ミ、岐阜県郡上市で683・0^ミ、佐賀
 市で581・5^ミを記録。広島県や岡山県をはじめ、西日本を
 中心に100力以上で観測史上最大を記録し、大災害をも
 たらした。この結果、7月10日までに分かった豪雨による人
 的被害は、死者126人、不明79人という平成最悪の災害と
 なった。また、人的被害以外にも、農業、漁業、その他の産業、
 そしてライフラインにも甚大な被害がもたらされたのである。
 ここ数年を見ると、日本列島は、火山噴火・地震・津波・台風・
 大雨による災害を、年毎に繰り返す『災害列島』と化したよ
 うに思える。今回の被害は、その規模とともに、「西日本豪雨」
 として災害史に残り、人々に、「いつ、誰が、どこで災害に遭
 ったかからない」という、大きな警鐘ともなった。

西日本豪雨災害



土石流が砂防ダムを乗り越えて線路に押し寄せた。(小屋浦付近)



被災地を広島湾海上からのぞむ。左手の市街地は矢野付近、右手は小屋浦付近、鉄塔のある山は絵下山



土砂が堆積し、川があふれ出した瀬野駅構内



土砂でアスファルトが剥がされた道路



被災された住宅



陥没した国道2号線（広島市安芸区瀬野川）



えぐりとられた国道2号線（広島市安芸区瀬野川）

死者225人、重軽傷 404人、未曾有の被害

8月1日現在（資料：朝日新聞）

8月3日の新聞朝刊に、「西日本豪雨」の主な被害の数字が載っている。死者225人、重傷68人、軽傷336人、床上・床下浸水3万4869棟、断水世帯26万3381戸、鉄道の運転休止115路線、というものである。改めて西日本豪雨の被害の大きさがうかがえる。

この西日本豪雨の被災状況を

を見ると、岡山県倉敷市真備町での複数の河川の氾濫による家屋の水没。そして、土砂崩れの危険性が懸念される住宅地を多く持つ広島県の中小河川の氾濫と土石流による被害とに大きく分けられる。

倉敷市真備町の水没は、河

川が決壊するとともに、徐々に水かさが増し、人々は、上の階から屋根へと、順次避難する形となった。つまり、広島県に比べると、避難するのにある程度時間的余裕があった。なかには、高齢のために、二階や屋根に上がれずに犠牲となった人もいた。しかし、

被災地の山頂の谷から豪雨

に削られて赤土の大地をむき出しにし、途中の急流に残された大小の岩石。根元から引き抜かれ急峻の谷を流れ下った樹々。この土砂と岩石、そして木材が大水とともに谷を流れ下るところを想像すると、身の毛がよだつようだ。

西日本豪雨災害

備える



ボランティアセンターを視察する日本生協連



安芸ボランティアセンターで受付をする高田専務



広島県災害対策本部の様子



安芸ボランティアセンターで受付をする盛谷専務



災害支援サックスセット



広島呉道路高架下に運び出された流出した土砂（小屋浦）

広島県生協連の対応

広島県生協連は、災害発生後、会員生協の被害状況を集約し、大雨被害情報として日報を発行し、全国の都道府県連に広島県の被害状況をお知らせした。

また、広島県との緊急物資協定に基づき、7月8日から広島県災害対策本部に連絡員（流通専門家）を1名、10日間派遣。支援物資や輸送の手配を広島県トラック協会と連携を取りながら、広島県各市町から要請のあった支援物資をお届けした。併せて広島県社会福祉協議会から要請を受け、災害ボランティアセンター（呉市、三原市）へ水500mlを8000本お届けした。また、広島市社会福祉協議会から要請を受け、7月13日から広島市災害ボランティア本部に職員1名を派遣、広島市災害ボランティア活動連絡調整会議に参加し、広島市を中心とした各地域の被害状況や支援状況について情報収集を行った。

7月14日には、日本生協連、生協ひろしま、コープCSネットが集まり、被害状況の確認と今後の対応、それぞれの組織の役割について協議を行った。続いて、7月20日には、広島県生協連、コープCSネット、生協ひろしま、広島中央保健生協が協議し、「コープ災害支援情報センター広島」の設置を決定し、広島市災害ボランティア本部から依頼があったボランティアセンター運営スタッフの派遣や、看護師派遣について協議した。7月23日には、日本医療福祉生協連も交え、看護師の派遣について日本医療福祉生協連から全国の医療福祉生協連を呼びかけ、7月26日より「酷暑によるボランティアの熱中症予防、健康管理」を目的に、毎日2名ずつ看護師を派遣していただいている。ボランティアに看護師を帯同される取り組みは初めての試みであり、ボランティアから好評である。（8月末現在16生協・事業連合より18人の運営支援、21生協より67人の看護師を派遣）また、広島県生協連では、全国から支援いただいている運営スタッフや看護師に、心ばかりの品（マスクや飴、絆創膏などをセットした災害支援サックスセット）をお渡しして、感謝を伝えている。

西日本豪雨災害

連帯力



生協ひろしまの皆さん



バスの案内をするいわて生協の池田さん



(写真右) 生協くまもとの迫さん。(写真左) 生協ひろしま横山専務(左)、コープCS ネット水野さん



泥出し作業中のグリーンコープの皆さん



看護師のみなさん 左から広島中央保健生協野田さん、健文会宮本さん、松江保健生協山本さん、長野医療生協山崎さん



看護師のみなさん(写真右) 福山医療協の看護師守屋さん(左)、古賀さん。(写真左) 健文会飯田さん(左)、福井県民生協橋本さん

会員生協の取り組み

会員生協では、まずは組合員の安否確認を最優先に取組んだ。広島中央保健生協や広島医療生協では、電話や訪問による組合員の安否確認を実施。そして広島医療生協では、地元の安佐北地域の泥除去作業に参加。自生協のあすなろ診療所も被害を受け、役職員が泥除去に取組み、広島県生協連も微力ながら協力した。広島中央保健生協、福山医療生協は、広島県生協連の依頼により、安芸区ボランティアセンターへの看護師の派遣を積極的に行なった。

生協ひろしまでは、被災地域の7600世帯に、中四国の生協とコープ共済連の協力を得て訪問し、住宅災害の査定を行った。組合員からは「わざわざ訪問してくれたの?」「来てくれて、話を聞いてくれて、見舞金の請求受付をしてくれるなんて、生協さんだけよ。」と嬉しい言葉をいただいた。また、8月11日より毎週土曜日にボランティア参加を呼びかけて活動している。

全労済では、自然災害共済に加入している組合員宅を訪問し、被害調査を実施し、共済金の支払いを進めている。(8月23日現在、受付1,134件、調査完了900件)

グリーンコープ生協ひろしまでは、広島県内だけでなく県外の職員にも呼びかけ、被害の大きい安芸郡坂町の泥除去作業のボランティア活動を行っている。コープCSネットでは、会員生協を通じて地域に貢献するために9月3日より月々金の間、毎日3人の職員のボランティア派遣に取組む。

広島県内の会員生協は、9生協464人が泥除去作業のボランティアや看護師を派遣している(8月20日現在)。

西日本豪雨災害に伴う支援物資一覧(8月25日現在)

受付日	行政機関先	商品名	入数	ケース数	数量
2018.7.8	広島市	COOPお茶500ml	24	100	2,400
2018.7.8	広島市	COOPお茶500ml	6	50	300
2018.7.9	広島市	(ハニオキと水(水)パック)	12	8	288
2018.7.9	広島市	快楽Gさわやかマスク50枚入	30	33	990
2018.7.9	広島市	おにぎり12個パック	12	8	96
2018.7.9	広島市	ウェットティッシュ50枚入り	12	180	1,800
2018.7.9	広島市	フレッシュアップ生湯スライスパック	12	146	1,752
2018.7.9	広島市	フレッシュアップ生湯スライスパック	12	78	936
2018.7.10	広島県(広島市、三原市)	COOPお茶500ml	24	343	8,232
2018.7.10	広島市	COOPお茶500ml	24	100	2,400
2018.7.10	広島市	COOPお茶500ml	24	100	2,400
2018.7.10	広島市	COOPお茶500ml	24	734	17,616
2018.7.13	広島市	ブルーシート7.5x4	20	1	20
2018.7.16	広島市	COOPお茶500ml	24	42	1,008
2018.7.16	広島市	COOPお茶500ml	24	42	1,008
2018.7.16	広島市	COOPお茶500ml	24	20	200
2018.7.16	広島市	パック	20	15	300
2018.8.3	広島市	COOPお茶500ml	24	15	360
2018.8.3	広島市	COOPお茶500ml	24	5	120
2018.8.3	広島市	COOPお茶500ml	24	21	504
2018.8.11	広島市(お茶は無料提供)	COOPお茶500ml	24	50	1,200
2018.8.11	広島市(お茶は無料提供)	COOPお茶500ml	24	50	1,200
2018.8.11	広島市(お茶は無料提供)	COOPお茶500ml	24	50	1,200
					42,310

2018 ピースアクション in ヒロシマ

2018 PEACE



全員で黙祷を捧げる（虹のひろば）

ACTION in HIROSHIMA

虹のひろばオープニング（被爆ピアノの演奏）

ヒロシマの心を次世代のあなたへ
知って、感じて、動き出そう

虹のひろば

広島は、今年で73回目の原爆の日を迎えた。そして、原爆の日8月6日の前日の5日（日）、日本生協連恒例の『2018ピースアクション in ヒロシマ』（虹のひろば）が、広島市中区の広島県立総合体育館「グリーンアリーナ」で開催された。

13時に開扉された会場は、全国70生協から訪れた1200名あまりの人たちで埋まり、13時30分、おなじみの玉田陽子さんの司会で、虹のひろばステージがスタートした。

オープニングは、昨年のノーベル平和賞授賞式でも演奏されて話題となった「被爆ピアノ」の演奏。続いて主催者である日本生協連本田英一代表理事会長のあいさつ。次に、原爆の犠牲者への哀悼の意味の黙祷を全員で捧げました。

次に、来賓として出席した松井一實広島市長が挨拶。松井市長は、生協の平和への取り組みに感謝の言葉を述べるとともに、自らが首長を務める平和首長会議が、核兵器廃絶を目指す主体となることを強調して挨拶を終えた。松井

市長の挨拶の後は、日本被団協箕牧智之代表理事による「被爆の証言」が、スライドとともに紹介された。

そして、原爆の絵を描いた基町高校の生徒が各自が描いた絵を掲げ、制作の苦労話についての質問を司会者から受けた。また、ヒロシマの町の再現VR映像を制作した福山工業高校の生徒も壇上に登場。CG・VR制作の裏話を紹介した。

虹のひろばのステージが終了すると、会場は『みんなのひろば』へと移った。

みんなのひろばでは、安田女子大学書道部書道ガールズの「大書パフォーマンス」が始まった。大きな紙面上で、部員達が、代わる代わる、広島・長崎をテーマにした短歌をリズムカルに記していく。パフォーマンス会場を取り囲んだ大勢の人が、食い入るようにその動きを見つめた。

展示コーナーでは、原爆についての展示や、基町高校の生徒が描いた『原爆の絵』に、大勢の人が詰めかけて絵を描いた生徒にいろいろと質問を投げかけていた。その他、折

2018 ピースアクション in ヒロシマ



書道パフォーマンス



挨拶する松井広島市長



挨拶する日本生協連本田会長



虹のひろばオープニング



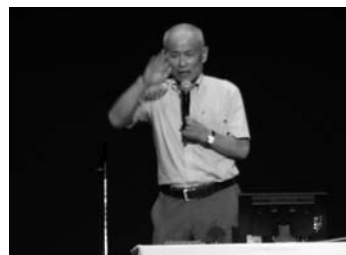
平和カフェ（合人社ウェンディヒと・まちプラザ）



被爆ピアノの映画制作スタッフ紹介



原爆の絵を描いた基町高校の生徒



被爆の証言を行う眞牧さん



参加生協ブース（いわて生協）



参加生協ブース（おおさかパルコープ）



福山工業高校のVR会場は行列待ち



広島医療生協ブース



原爆展示



折り鶴づくり会場



折り鶴解体作業体験コーナー



子ども平和会議会場（小学生）



虹のひろばフィナーレ



子ども平和会議アピール文表明



子ども平和会議会場（中・高生）

り鶴コーナーでは熱心に折り鶴を折る人、会場中央に設けられた映像に見入る人が大勢いた。福山工業高校の会場では、VR映像を体験しようという行列もできていた。会場の周囲に展開する各生協や団体のブースでは、さまざまな平和の取り組みが展示され、参加者同士の交流が盛んに行われていた。また、人々との交流も賑やかに図られ、平和を希求する会場の雰囲気を感じ上げていた。

◇

ステージの締めくくりに登場したのは「子ども平和会議」のみなさん。午前中、別の会議室で開かれた子ども平和会議の様子を披露し、会議のアピール文を、4人の代表によって会場に詰めかけた人たちに力強く披露した。

時間は午後4時半近く、今日一日の虹のひろばの締めくくりは、歌が好きで、平和を願う虹のひろば合唱団による合唱。

指揮者小林ケイ先生、近藤まゆみ先生、被爆ピアノによる演奏、特別演奏にシンセサイザーとフルートとシンバルも加わり、催しを締めくくるとともに平和を願う一日が終わった。（Y）

2018 ピースアクション in ヒロシマ

原爆の絵を描いて

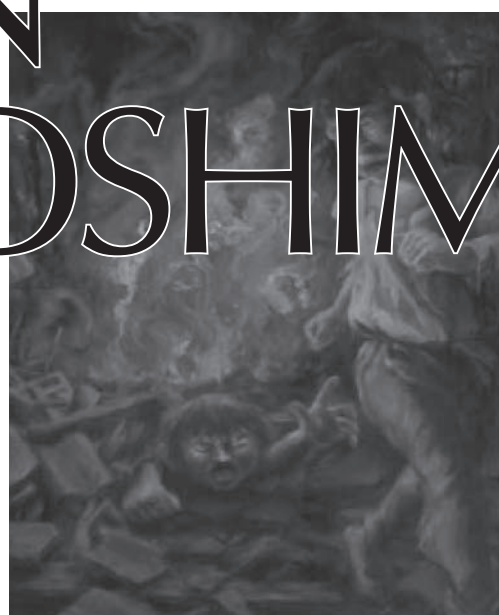


広島市立基町高等学校
普通科 創造表現コース 2年

中川 雛
なかがわ ひいな



N
OSHIMA
A



被爆者の想いに応える

中川雛さんは、幼い頃から絵を描くのが好きで、「画家になりたい」という思いで広島市立基町高等学校の普通科「創造表現コース」に進んだ。そして、基町高校に入って、『原爆の絵』と初めて出会う。現在、2年生。中川さんが、入学した時には、基町高校の創造表現コースの原爆の絵制作は10年近い歴史を重ねていた。そうしたなかで、原爆の絵制作に挑んだのは、40人のクラスメイトのうち8人。全て本人の自由意思によるものだ。

絵画制作では、中川さんは、岡田恵美子さんという高齢の被爆者の方を担当した。岡田さんは被爆当時8歳、爆心地から2・8km、現在の広島駅付近の東練兵場付近で原爆の二次火災より逃れる途中だった。その時、幼い女の子が柱に挟まれ動けなくなると、火が迫り来るなかで、鬼のような形相で「お母ちゃん！」と狂ったように岡田さんのもんぺをつかんだ。しかし、岡田さんも逃げるのに必死で、か弱い女性の力ではとても助けることはできない。岡田さんは、いまでもその時の少女の目が

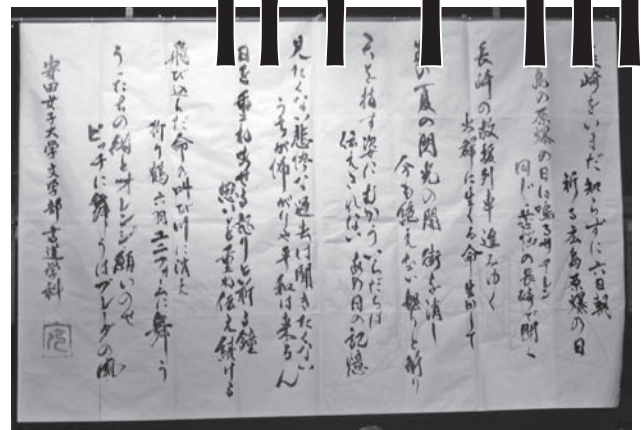


(Y)

忘れられないという。いつも「ごめんなさい」と心の中でつぶやき、炎を見ると心が痛む。中川さんは、そんな岡田さんの体験を絵にするのに、全てが見たことも経験したことのないこととあって、本当に大変だったという。絵が完成した時には、岡田さんから「よくここまで描いてくれました。……」という言葉をいただき、それまでの気持ちが救われたそう。

中川さんの将来の夢は、美大に進んで美術教師になること。この原爆の絵を描いたことによって、被爆者の方の証言を将来に残すことに少しでも協力できた、という思い。そしてそれが、美術の道に進む自分への力になっている。

2018 PEACE ACTION in HIR



安田女子大学
文学部 書道学科 2年
田中 凛子
たなか りんこ

自分と向き合って…

平和への想いを書で

被爆体験者が減り続けている。広島への平和への思いをどのように次世代に繋げていいたらいのか、平和への思いが届かない焦りに広島は包まれている。

そんなとき、田中凛子さんたちは、ふと、思った。自分たちの思いを多くの人たちに知って欲しいと思う前に、私たちは、相手のことを知っているのだろうか。たとえば、同じ被爆地長崎の方達のことを、どれだけ知っているだろうか、という思いで、安田女子大学書道部の部員は考え、「短歌」という形でパフォーマンスに挑戦した。

広島・長崎を思う気持ちは、パフォーマンスの9編の詩の冒頭の「長崎をいまだ知らず六日朝 祈る広島原爆の日」という詩に顕われている。

いま書道学科2年生の田中凛子さんは、「書は自分と向き合える。そして、自分の心を表現できる」と、虹のひろばのパフォーマンスで、9編の詩のうちの自分の担当の詩を書き上げ、瞳を輝かせる。「書は一期一会、二度と同じものは書けない」と、書の難し



さと面白さを言葉にしなが、自分たちの平和に対する熱い思いも披露してくれる。

安田女子大学文学部書道学科は、全国的にも珍しい学部学科で、ここを目指す人たちは、ほとんどが「書道家」、そして教師として「書道の指導者」を目指す人たちだ。田中さんも、小さい頃から書道を学び、高校に入った時に出会った書道の先生から大きな影響を受け、安田女子大学文学部書道学科を目指し、難関をくぐって大学で学んでいる。

もちろん、田中さんも大学で教師の資格を取得して、書の教鞭をとることがいまのところの目標だ。書の魅力が、平和への道の表現につながることを信じて…。(Y)

こどもけんこうまつり けんこうチャレンジ2018

こどもの健康と平和を願って

第18回こどもけんこうまつり

広島医療生協と生協ひろしま共催で開催

広島医療生協中筋支部が主催する「第18回こどもけんこうまつり」こどものけんこうとへいわをねがって」が7月25日(水)、広島市安佐南区民文化センター2階大広間で開催された。この催しは、生協ひろしまのコープ委員長会も共催して開催している。

当日は、45名が参加し、「歯みがきチェック(歯科衛生士)」、「身体測定(医師・看護師)」、「赤ちゃんコーナー(保育士)」、「手の汚れチェック(支部の組合員)」、「バルーンアート」、「平和コーナー(生協ひろしま)」と多彩で、各ブースや体操タイムなど、お母さん子どもたちも「楽しめて為になる催し」として賑わった。

こどもけんこうまつりは、広島医療生協が18年前に広島市安佐南区東野集会所で始めた。こうした催しが、18年間継続・開催されているのは非常に珍しい。地域の誰もが参加できる行事が、医療生協と購買生協が共催し、医療・健康・平和などの得意な活動や人材を協力し合うことで、取組み

の幅が大きな広がりを見せている。これからも地域に根差した行事として地域とともに取り組んでいく。
(文責 広島県生協連 山下知子)



広島医療生協「健康チェックコーナー」



広島医療生協「赤ちゃんコーナー」



生協ひろしま「平和コーナー」



報告する広島県健康福祉局森宏子氏

『けんこうチャレンジ2018ステップアップ集会』開催

8月31日(金)、広島県生協連は、「けんこうチャレンジ2018ステップアップ集会」を開催した。この企画は、けんこうチャレンジ一万人達成に向けて、広島県の取り組みを知り、相互に連携して推進することを

目的としており、今年初めて企画された。集会には、広島県健康福祉局、広島医療生協、広島中央保健生協、福山医療生協、生協ひろしま、広島県生協連、合わせて28名が参加した。

集会のはじめに、広島県健康福祉局地域包括ケア森宏子氏から、広島県の健康づくり活動、広島県が取り組んでいる『健康ひろしま21』や『食育』について報告いただいた。

各生協の報告では、地域の町内会やJ.Aとの連携でサロンづくりや百歳体操が活発になっていることが報告された。また、医療生協は広島市の「高齢者いきいきポイント事業」を活用したサロンなど

を開催してはどうか」という提案があり、お互いの交流や情報交換なども可能になるという点で期待されている。

この集会は、初の開催だが、広島県の取り組みを直接聞く貴重な機会となった。参加者からは、「県の具体的な方針がよくわかった」、「他の生協と交流でき、参考になった」との声があり、広島県及び各生協の健康づくりの取り組みをより一層深めていく良い機会となった。

(文責 広島県生協連 山下 知子)



グループで交流の様子



グループで交流の様子

広島県庁から 消費者ネット広島 理事会・委員会報告

広島県庁からのお知らせ

〈義援金のお願い〉

平成30年7月5日からの豪雨災害で被害を受けた皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。県では、市町とともに被災者の皆さまの生活再建に取り組んでいます。

被害を受けた被災者への援護の一環として、義援金を受け付けています。口座振込みの他、現金の持参も受け付けています。いただいた義援金は、被災市町を通じて被災者の皆さまにお届けします。

皆さまのご協力、ご支援を引き続きよろしくお願い致します。

詳しくは広島県ホームページのトップ画面「義援金の受付について」をご覧ください。

●SNSで災害からの復旧・復興の取組なども含め県政情報を配信中です。



「友だち」になってね!

●問合せ／広島県総務局広報課
082(513)2378

消費者ネット広島情報

消費者トラブルの

手口を知ろう⑨

近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないよう、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

ひとこと助言

★ドアを開ける前に、訪問者や用件などをよく確認し、必要なければドアを開けないようにきっぱりと断ることが大切です。景品を置いて行かれても、契約するつもりがない場合は、使用せず返せるようにしておきましょう。

★周囲の人も、一人暮らしの障がい者や高齢者の家に見知らぬ人が出入りしていないか、生活に変わった様子がないか等、日ごろから気を配りましょう。

【事例】

あいさつ回りだと言って訪問してきた新聞の勧誘員から、「お米や洗剤をあげるから」などと言われ新聞の勧誘を受けた。目が不自由なので断ったにも関わらず、3カ月間の新聞購読の契約をすることになってしまった。契約書には、勧誘員が代わりにサインをした。その後、販売店からお礼の電話があったので、解約したいと申し出たら、勧誘員が再度訪問して来て「解

約するとは何だ」と言われた。(当事者…40歳代 女性)

理事会・委員会報告

第1回理事会報告

■開催日 7月5日

■出席 理事18名中16名出席

■決議事項

・常務理事の選任
・他団体への協賛

■協議事項

・広島県との包括連携協定の取組について
・第46回広島県生協大会と2018核兵器廃絶市民の集いの開催について

・2019年度広島県への要請事項について
・常務理事会専決事項について

■報告事項

・2018年度通常総会開催報告
・2018年度第1回トップセミナー開催報告
・ヒバクシヤ国際署名広島県推進連絡会の取組報告

・映画「おかあさんの被爆ピアノ」の進捗状況報告

第2回福祉・介護委員会報告

■開催日 8月22日

■主な協議・報告事項

・2018年度(医療)介護報酬改定への対応と今後の強化分野について
・トップケーススタディ研修企画について

・福祉介護委員会2018年度計画進捗状況報告

災害に対する

ろうきんの基本姿勢

この度の平成30年7月豪雨

災害により被災された組合員の皆様ならびにそのご家族の皆様は心よりお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今回は「へ生協」と「へろうきん」の関係について、述べさせて

いただきます。

ろうきんの誕生に生協が深く大きく関わっていることはご存じでしょうか？

ろうきんは日本協同組合連盟（現在の日本生活協同組合連合会）の1945年の設立総会で決議された「労働者による自主的金融機関の設立と高度なる協同的社会保障の確立を期す。」綱領を受け、生協

は「助け合いの輪」を広げる生協運動を展開し、この運動と労働者福祉運動と結びつけ、ろうきんが誕生しました。

このように生協とろうきんは、「組合員の皆さまとそのご家族の暮らしを応援し豊かで充実した生活と社会を実現する。」という同じ目的を持ち、生協およびその構成員の一人ひとりを主人公として、同じ協同組合の仲間として、生協との連携を進め、組合員とそこへご家族の暮らしを応援します。

皆さまに特にお伝えしたい二つの取組を紹介します。

- ① 復興に向けての生活資金や住宅資金が必要な方
- ② 被災された住宅に関するローン返済に不安を抱えている方
- ③ 復興に向けて経済的な不安をお持ちの方

二点目は、より豊かな充実した人生を応援するため生活応援運動を実施しています。次の項目に該当される方はろうきん窓口にご相談されてはいかがでしょうか。

- ① 他金融機関で高い金利で住宅ローンをご利用の方
- ② 月の返済金額が負担と感じられている方
- ③ 数の借入のおまとめ希望されている方

相談することできると皆さまの生活にお役にたてるお手伝いができることと思います。今後とも、組合員の皆さまの身近な相談相手として、ご利用ご活用をお願いいたします。

中国労働金庫本店営業部
部長 宇畑 敬士

平成30年7月豪雨 災害救援ローン（無担保・有担保）

〈ろうきん〉は自然災害等で被災された方の早期の生活安定と災害復旧を支援します。

制度項目	内 容
対 象 者	平成30年7月豪雨により被災された方または被災された方の3親等以内の親族で当金庫の取引資格を満たす方。 ※対象者は、「災害救済法」適用地域に限りません。
取扱期間	2018年7月9日から2019年3月31日（申込受付分）まで
お使用みち	申込本人または3親等以内の親族のための以下①、②の費用とします。 ①被災による家財道具購入費、被災による傷病の入院・治療費、被災した車輛の買替・修繕資金、災害復旧に要するその他生活資金、および、災害時の当座の生活資金 ②被災住宅の修理・改修等の復旧工事費、災害による住宅の建替費、代替住宅の購入費
お借入限度額	＜無担保＞ お使用みち①に該当する場合は1,000万円以内（原則として1万円単位） お使用みち②に該当する場合は2,000万円以内（原則として1万円単位） ※年金生活者は200万円を上限とし、かつ年間の年金受給額の範囲内とします。 ＜有担保＞ 1億円以内（原則として1万円単位）
ご返済期間	＜無担保＞ お使用みち①に該当する場合は10年以内 お使用みち②に該当する場合は25年以内 ＜有担保＞ 40年以内 ※ご返済期間は満76歳に達するまでの期間とします。 ※上記返済期間内において当初1年間、元金の返済を据置（「据置貸付」）のご利用が可能です。なお、据置期間は返済期間に含まれます。
金 利	＜無担保＞ 会員 年1.200%（固定金利）（保証料込み） 会員以外 年1.600%（固定金利）（保証料込み） ＜有担保＞ 年1.075%（変動金利）（保証料込み）
返済方法	毎月返済または毎月・ボーナス併用返済 ※年金生活者は毎月返済または2か月に1回の返済を行う隔月返済とします。（無担保）
お申込条件	最終弁済時年齢が満76歳未満であり、金庫の定める保証機関の保証を受けられる方。
保証	（一社）日本労働者信用基金協会
担 保	＜無担保＞ 不要 ＜有担保＞ 融資対象不動産（原則として第1順位の抵当権を設定します）
そ の 他	お申込みには罹災証明書等をご提出していただきます。

※審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※くわしい説明書が必要な方は店頭へ申し出ください。



●くわしいお問い合わせ・ご相談は
中国労働金庫ローンセンター 0120-364-160

（2018年7月9日現在）

【編集室から】

またしても豪雨が広島県を襲った。広島県だけでなく今回は西日本全体の広範囲に被害を及ぼした。新聞発表では、8月3日現在、死者225人、重傷68人、軽傷336人、床上・床下浸水3万4869棟と、九州北部から東は岐阜県にまで及ぶ平成最大の被害となった。▼ここ数年の日本列島の災害状況を見ると、梅雨の時期や台風が来る時期になると、必ず大規模な災害が発生している。30年前には、滅多になかった大災害が、毎年、数回必ず起きるようになっていくのだ。▼2014年（平成26年）9月7日、日本列島を襲った台風18号によって世界遺産の厳島神社が大きな被害を被ったとき。神社の宮司が「100年に一度の台風が、年に2度も襲ってきた」とマスコミに話していたが、これを矛盾とすることはできない。▼これからは毎年何かが起こる、という前提のもとに国や県民が私たちが、対策や対応を講じなければならなくなっている。報道で、避難所に休む被災者の失望・憔悴といった表情をみていると、我々は自分のこととして真剣に「災害」に対して向き合わなければならない、そのときに来ている。ことを強く考えさせられた。（Y）

平和とよりよき生活をめざして



広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11
第7ウエノヤビル5F
TEL 082-532-1300 FAX 082-232-8100
E-mail : kenren.h@proof.ocn.ne.jp
URL : http://hiroshima.kenren-coop.jp